

アリババグループADR(BABA)

【セクター】 インターネット

【市場】 NYSE

【企業概要】

中国最大のeコマース企業で、CtoC中心の「淘宝网（タオバオ）」、BtoCの「天猫（Tモール）」が主力サイトです。検索連動広告やディスプレイ広告による販売促進に対する対価のほか、Tモールでの売上に対するコミッションが主な収入となっています。東南アジアのeコマースで「Lazada」を所有するほか、オンライン動画の「優酷土豆」、クラウドサービスを展開しています。また、スマホによる決済システム「アリペイ」や資産運用サービス「余额宝」を擁する金融サービスのアント・ファイナンシャルがグループ企業で、株式の33%を保有します。

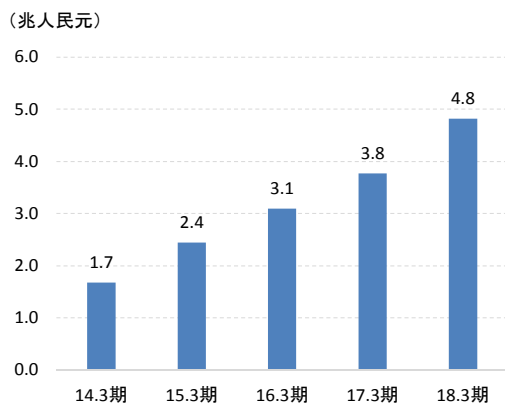
【業績】（単位：売上、純利益は百万人民元、EPS、DPS、BPSは人民元、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
16年3月期	101,143	23,635	9.22	0.00	87.7	13.0	68.6
17年3月期	158,273	40,552	15.76	0.00	110.2	16.4	64.0
18年3月期	250,266	66,915	25.63	0.00	142.2	20.8	61.3

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 商品総取扱高



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 事業別売上構成（18年3月期）

事業名	売上構成 (%)
コア・コマース	85.5
中国コマース(リテール)	70.5
海外コマース(リテール)	5.7
中国コマース(ホールセール)	2.9
中国物流サービス	2.7
海外コマース(ホールセール)	2.6
コマースその他	1.1
デジタルメディア&エンタテインメント	7.8
クラウドコンピューティング	5.4
イノベーション・イニシアチブほか	1.3

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

世界最大と考えられる中国の巨大なeコマース市場でトップの地位を確保して高成長を遂げていますが、これまでのような高い伸びがいつまでも続くわけではないでしょう。そのため、リアル店舗の展開、海外でのeコマースやeコマース以外の事業展開が将来の成長を支える事業として注目されます。また、コア・コマース以外の部門は、いまのところ営業赤字ですが、これらがいつ利益貢献してくるか注目されます。

【見通し・注目点】

18年3月期に株式の33%を取得した金融サービス会社アント・ファイナンシャルは公開の意向があるとされるため、同社株価のカタリストとして注目できるでしょう。同社は、アリババサイトで決済サービス（エスクロサービス）を提供して創業した会社で、現在では中国で広く普及するスマホによる決済システム「アリペイ」、資産運用サービス「余额宝（ユエバオ）」、信用評価システムの「芝麻信用」などを擁し、直近のファンディング時の時価総額は1,500億ドルに達したとされます。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 18/8/28)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。